

2024年

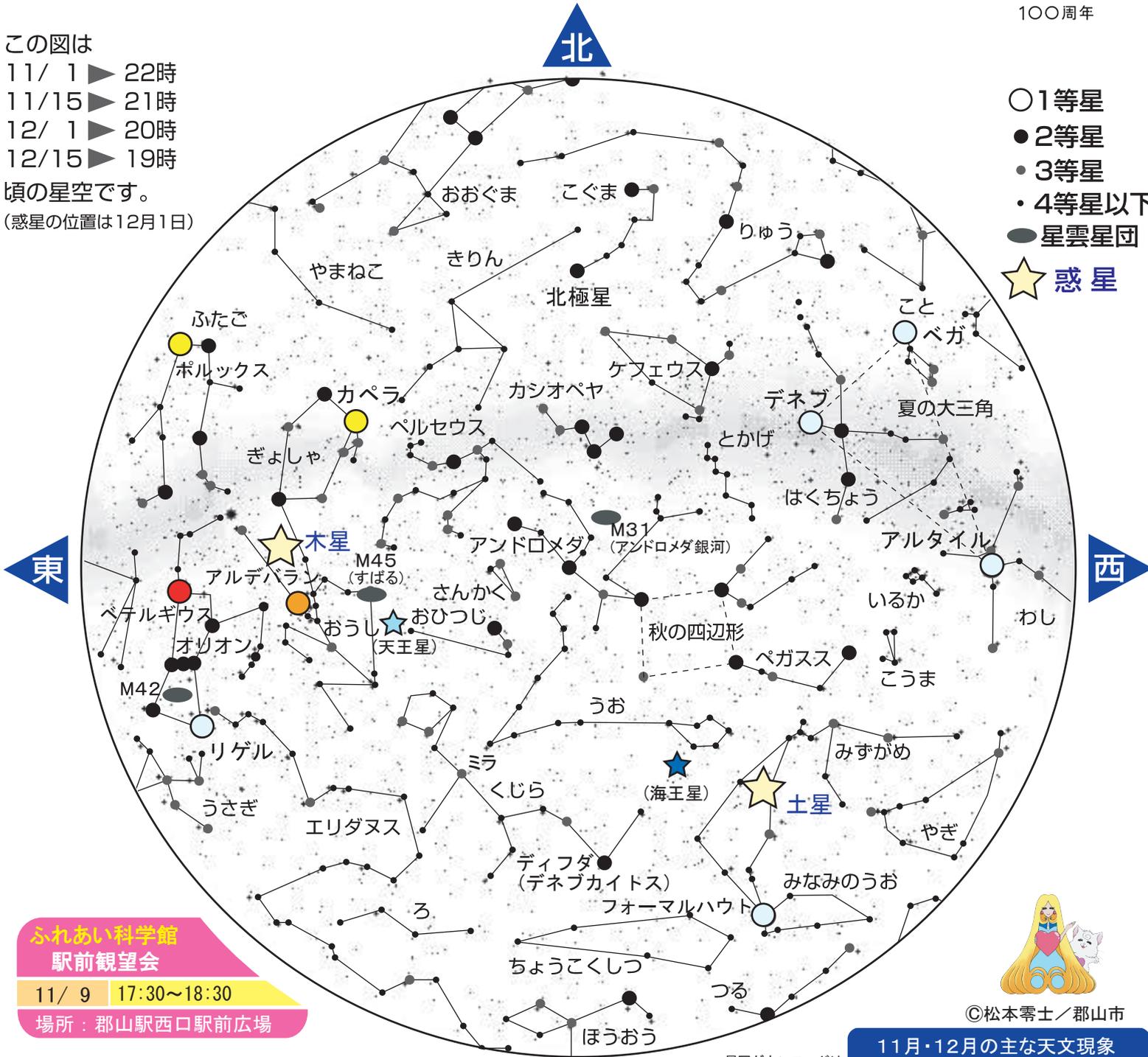
11月▶12月の星空



プラネタリウム
100周年

この図は
11/ 1 ▶ 22時
11/15 ▶ 21時
12/ 1 ▶ 20時
12/15 ▶ 19時
頃の星空です。
(惑星の位置は12月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ★ 惑星



ふれあい科学館 駅前観望会
 11/ 9 17:30~18:30
 場所：郡山駅西口駅前広場



©松本零士／郡山市

郡山の日の出・日の入		
11/ 1	6:00	16:44
11/15	6:15	16:31
12/ 1	6:31	16:24
12/15	6:42	16:25

月の満ち欠け		
新月	11/1, 12/1, 12/31	
上弦	11/ 9, 12/ 9	
満月	11/16, 12/15	
下弦	11/23, 12/23	

※上弦、下弦は半月です。
※天王星、海王星は肉眼では見えません。

星図ダウンロードは
こちらから



11月・12月の主な天文現象	
11/16	水星が東方最大離角
12/ 8	土星食、木星が衝
12/14	ふたご座流星群が極大
12/21	冬至

日の入りの時刻が早くなり、夜の長さを感じる季節となりました。「秋の四辺形」やみなみのうお座の「フォーマルハウト」などの見ごろを迎えた秋の星を探しつつ、そこに輝く土星も見つけてみましょう。12月8日には土星が月に隠される「土星食」が起こり、日本では南東側の地域で見ることができます。郡山では18時24分に土星が月に隠され、19時に再び現れます。ほぼ半月の状態の月の輝きによって肉眼では土星が見づらいため、望遠鏡での観察がおすすめです。またその日は木星が衝となり、ほぼ一晩中木星の観察を楽しむことができます。-2.8等という明るい姿は肉眼でもしっかりと目を引き、一等星が多い冬の星空に木星がさらに彩りを加えています。東の空から昇るにぎやかな星空をお楽しみください。

12月14日はふたご座流星群が極大を迎えます。特に14日の明け方は1時間に30個ほどと多く流れる予報ですが、今年は15日が満月となるため月明かりの影響を受けてしまいます。流れ星を探すときの基本は空を広く見渡すことですが、今回は月が輝く空とは反対側の空を見るようにするなどの工夫が必要です。この頃は一段と寒さが増しますので防寒対策も忘れずに行ってください。

